

「遊び」と「学び」の融合の中で

1970年代に生まれた教育概念の一つである「エデュテイメント」
これは「エデュケーション（教育）」と「エンターテインメント（娯楽）」を組み合わせ、
「楽しみながら学べる」という教育のことを言います。

エデュテイメント [edutainment = education + entertainment]

娯楽でありながら、娯楽と関係ない分野の教育として機能するエンターテインメント形式のことです。
例えば、動物園の「ジャングルバス」。これも、一種のエデュテイメントです。
ガイド解説付きツアーで野生動物の生態や生息地を学ぶことができます。



それでは、園の中では、どんなエデュテイメントがあるのでしょうか？

子ども達が大好きな『散歩』もその1つです。

単に散歩に行くだけではなく、必ず目的を明確にしていきます。

「自然に触れる」や「交通ルールを守る」など…

同じ『散歩』という活動でも、目的を持つ事でエデュテイメントになっていくのです。

子ども達は、体験を通し、心も頭も体も成長していく。

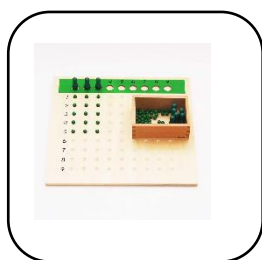
そうやって、遊びの中で学ぶことが出来たら素晴らしいですね。

学校で学ぶような角度だけではなく、子どもの知りたいと思うことに耳を傾け、教育的要素を盛り込んだ環境を準備します。

そこで夢中になって遊ぶことで、子ども達の能力も最大限に引き出されます。

エデュテイメントは、モンテッソーリ教育の中にもいくつかあります。

例えば算数教育の「割り算板」…就学前に割り算が必要なのか？と思うかもしれません。



しかし、モンテッソーリ教育で使う「割り算板」は小学校でのやり方とは違います。

コビットさんに同じ数のビーズを分けていくというものです。

やり方はとても簡単で、この1コずつのビーズを分けるという繰り返しの活動が子ども達は楽しいのです。

これによって割り算の意味、「分けること」を遊びながら理解していきます。

そして、一年の集大成でもあるエデュテイメントとは？ズバリ…**生活発表会**です。

一年間のテーマ活動で学んだことや毎日の生活（遊びや体験）を通して得たことを

エンターテインメントとしてお客様に伝えていく。そんな会になればいいと思っています。

みなさん、子ども達が創り上げる舞台を楽しみにしててください。

(橋本)